

平成28年5月13日

崇城大学 宇宙航空システム工学科
専修課程 航空整備学専攻
保護者各位

宇宙航空システム工学科
学科長 白石和彦
航空従事者養成施設
施設長 大里裕治

熊本地震における空港キャンパスの現状報告と授業再開について

日頃より崇城大学にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

この度の熊本地震に際しまして、皆様に大変ご心配をおかけし、多くのお見舞いと励ましのお言葉を頂き、大学関係者一同心から御礼を申し上げます。また、幸いにして関係者に大きなけがもなく、元気にしております。

4月に発生しました熊本地震により、空港キャンパスは教育訓練施設および学生寮などキャンパス内に甚大な被害を受けました。特に整備学専攻の学生が入寮している学生寮や実習棟と格納庫など、整備学専攻で使用している施設の被害が大きく、早期の使用が困難な状況です。しかし、授業再開に向けた作業が少しずつではありますが進められており、今後の見通しについて以下ご報告致します。

・授業再開までの計画

- 1) 空港キャンパス敷地内に仮設の寮、講義棟及び実習棟を5月末までに建設
- 2) 仮設学生寮は個室で冷暖房を完備し、現状とほぼ同じ広さとなる予定
- 3) 食堂及び風呂の共有スペースは従来施設を使用
- 4) 6月3日(金)に各学生は各自の荷物の梱包と片付けをお願いします。
- 5) 6月4～5日、業者により学生寮から備え付け家具を仮設学生寮へ移動
- 6) 6月6日(月)より授業を再開予定

・その他

- 1) 授業の再開にあたっては、地震により受けられたメンタル面の影響につきましてもケアを行いながら開始していく所存です。
- 2) 授業再開までに約2ヶ月を要することから、今後の授業計画、夏期休暇等については今後詰めていきたいと考えています。
- 3) 講義棟、学生寮及び体育館は、詳細な耐震診断を実施後、対応を決定します。
- 4) 実習棟及び格納庫は補修後使用する予定です。

授業再開に向けた諸連絡については、各学年担任より連絡させていただきます。ご不明な点等ございましたら、遠慮無く各学年担任までお問い合わせ下さい。

今回、保護者の皆様をはじめ関係各所から頂いた励ましのお言葉を胸にしっかりと刻み、航空界に寄与出来る人材の育成に、従来にも増して崇城大学あげて取り組む決意を述べさせていただきます、ご報告といたします。

敬具